

【岐阜県版】安全就業ニュース



令和5年度7月号

【今月報告の事故】

○団体傷害保険関係事故

・死亡事故及び入院6ヶ月以上の重篤事故

該当事故の報告はありませんでした。

・1ヶ月以上の入院事故

該当事故の報告はありませんでした。

○労働災害

・休業日数4日以上を負傷事故

地域	事故発生日	時間	内容
岐阜地域	2023/06/27	15:10	75歳男性。 ベルトコンベア付近のこぼれた土を集める作業の最中、暑さをともなっていたため熱中症状状態となりふらつき、身体が倒れないようにベルトコンベアの支柱を掴んだが、支えきれずに右手首を痛めて転倒した。転倒する際にベルトコンベアのボックスの角に頭を接触させ、ヘルメットが脱げて頭部に裂傷を負った。

・通勤途上の負傷事故

地域	事故発生日	時間	内容
西濃地域	2023/06/06	08:00	72歳男性。通勤途上の事故。 2車線道路を走行中、横の細道からワゴン車が急に出てきたため、止まることができずに正面から衝突した。車は全損となり、むちうちの症状を負った。 通勤途上の事故ではあるが、労災保険を使用せずに相手方の保険にて対応した。

今後とも事故防止の啓発をよろしく願いいたします。

【お知らせ】

○熱中症にお気を付けください。

6月中に熱中症及び熱中症様の症状による二次的な傷害事故が発生しました。梅雨が明け、猛暑が毎日のように続きます。重度の熱中症は身体に障害を残す可能性もありますので、下記に示すような熱中症対策を常日頃から意識するようお願いいたします。病院へかかるべきかの症状の判断基準は、「岐阜県版安全就業ニュース 6月号」をご参照ください。

【熱中症対策】

○水分、塩分をこまめにとる

喉が渇いていない場合でもこまめに水分をとってください。また、水分のみを大量に摂取すると血中ミネラル濃度が下がり熱中症になりやすくなります。水分に合わせて塩分も取るようにしてください。

取りすぎた塩分はカリウムの多い食事(生野菜、果実、藻類など)で体外へ排出されます。日中は塩分を取り、夕食はカリウムの多い食事を心がけてください。

○室内を涼しくする

エアコンや扇風機を躊躇わずに使用してください。「この程度の暑さなら大丈夫」と我慢をすることは危険です。特に就寝時は、室温を適度に下げて過ごしやすい環境を作るように心がけてください。

また、エアコンはつけたり消したりを繰り返すよりも「つけっぱなし」の方が電気代は安くなります。就寝時は夜から朝まで「つけっぱなし」がおすすめです。

○休憩をこまめにとる

暑さや日差しにさらされる環境で活動するときは、こまめな休憩をとってください。汗をかくななどの身体の温度状態を保つ行為は、想像以上に身体に負担をかけています。水分補給を兼ねて休憩をこまめにとり、身体を休ませてあげてください。

参考：環境省「熱中症要望情報サイト」

一般財団法人日本気象協会「熱中症ゼロへ」

- ・ 30日以上入院事故、または重篤事故(180日以上入院事故または死亡事故)が発生した場合は、まずは電話等で連合会へ報告をお願いいたします。
- ・ 労働災害が発生した場合は、早急に連合会へ電話をお願いいたします。

——— 今月の短歌 ———

夏の日 晴れども後に 咽び泣く
人とも同じく 千変万化

